

2020.3.12 <計2枚>

京都教育記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

“教育界のノーベル賞” グローバル・ティーチャー賞 2019 トップ 10 選出
 正頭英和・立命館小学校教諭が解説
 『子どもの未来が変わる英語の教科書』発売開始
 —キーワードは“英語力”と“行動力”—

立命館小学校(所在地:京都市北区、学校長:後藤文男)の正頭英和(しょうとう・ひでかず)教諭は、『子どもの未来が変わる英語の教科書』を執筆いたしました。同書は、2020年3月12日、講談社より出版されます。

AI や ICT などの科学技術が急速に発展する昨今、教育現場では、初等教育段階から、子どもたちが答えのない問いに挑み、創造力や思考力を養う学びに変化しています。正頭教諭が教鞭をとる立命館小学校においても、プログラミング教育を通して、課題解決に必要なプロセスを導き出し、適切な順序で実行するというプログラミング的思考を習得する授業を行うなど、答えではなく考え方を学ぶことのできる教育を行っています。

現代の教育は、保護者世代が受けてきた教育とは一線を画しており、社会全体がこれまでの教育・子育ての常識・考え方をシフトチェンジしていく必要があります。

本著では、「教育界のノーベル賞」と呼ばれる「Global Teacher Prize 2019(グローバル・ティーチャー賞)」トップ 10 に、世界 150 カ国 3 万人の中から選出され、国内の ICT 教育を牽引している正頭教諭が、未来を生き抜く子どもたちを育てるために、保護者の方々はどのように考え方をアップデートすべきなのか、自身の教鞭経験を交えながら解説していきます。

保護者の方が、これからの時代を生き抜く子どもたちに必要な力について考えるきっかけになれば幸いです。

『子どもの未来が変わる英語の教科書』

著:正頭 英和

定価:本体 1,500 円+税

発行:講談社

書店発売日:2020年3月12日(木)



【正頭英和教諭のコメント】

テクノロジーの進化によって、これまでの旧来型の学びは、役に立ちにくい時代になりました。「英語は本当に必要?」「ゲームばかりしてるんだけど、大丈夫?」など、保護者の方々のお悩みも、これまではないものばかりになってきました。本著では、こういったお悩みに対して、「世界トップティーチャー」としての答え・考え方を提案しています。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和

TEL.075-813-8300 <http://www.ritsumeai.ac.jp/>

別紙

■目次

- プロローグ AI 時代、世界で求められている教育とは
- CHAPTER1 AI 時代に英語力は必要か？
- CHAPTER2 日本の英語教育をアップデートするには？
- CHAPTER3 家庭でできる新時代の英語学習法
- CHAPTER4 AI 時代に生き残れる子どもを育てる
- CHAPTER5 AI 時代に求められる親の対応力を磨く
- エピローグ AI 時代、子育てにいちばん大切なこと

■著者プロフィール

正頭英和(しょうとう・ひでかず)立命館小学校 英語科教諭／ICT教育部長。

1983 年大阪府生まれ。関西外語大学外国語学部卒業。関西大学大学院修了(外国語教育学修士)。京都市公立中学校、立命館中学校・高等学校を経て現職。「英語」の授業に加えて「ICT 科」の授業も指導する。2019 年、「教育界のノーベル賞」と呼ばれる「Global Teacher Prize 2019(グローバル・ティーチャー賞)」トップ 10 に、世界約 150 カ国・約 3 万人の中から、日本人小学校教員として初めて選出される。AI 時代・グローバル時代の教育をテーマにした講演も多数実施。

